

第一回足立区ギャラクシティ運営評価委員会議事録

会 議 名	第一回足立区ギャラクシティ運営評価委員会		
開 催 年 月 日	平成 29 年 3 月 28 日 (火)		
開 催 場 所	こども未来創造館 事務室		
開 催 時 間	12 時 30 分開会～15 時 00 分閉会		
出 欠 状 況	委員現在数	10 名	
	出席委員数	4 名	
出席者(敬称略)	■出席	委員長	□宮田 隆志 (東京大学大学院理学系研究科准教授)
		委 員	□池田 幸也 (常磐大学コミュニティ振興学部学部長)
	□欠席	委 員	□井徳 正吾 (文教大学情報学部情報社会学科教授)
		委 員	□小森 伸一 (東京学芸大学教育学部健康スポーツ科学講座准教授)
		委 員	■伊志嶺 絵里子 (東京藝術大学音楽学部非常勤講師)
		委 員	■林 克彦 (石洞美術館学芸員兼事務局長)
		委 員	■田中 則聡 (足立区立小学校PTA連合会会長)
		委 員	■大林 英夫 (足立区少年団体連合協議会副会長)
		委 員	□勝倉 秀一 (一般公募)
		委 員	□山崎 千枝 (一般公募)
事 務 局	子ども家庭部青少年課	課長	寺島 光大
	青少年課ギャラクシティ支援担当	係長	中島 宣幸
	青少年課ギャラクシティ支援担当		上野 兼司
	青少年課ギャラクシティ支援担当		照屋 良太
会 議 次 第	1. 開会 2. 青少年課長挨拶 4. 施設見学 5. 意見交換 6. 閉会 7. 事務連絡		
配布資料	資料1 「本日の次第」 資料2 「ギャラクシティ運営評価委員会の活動目的とスケジュール」 資料3 「平成 25・26・27 年度足立区ギャラクシティ運営評価委員会 評価書」 資料4 「本日の事業視察スケジュールについて」 資料5 「ギャラクシティニュース等」		

<p>中島係長</p>	<p>&lt; 1. 開会 &gt;</p> <p>本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。これより、第一回ギャラクシティ運営評価委員会を始めさせていただきます。本委員会は「足立区子ども未来創造館条例」第24条及び第25条に基づき、区長の附属機関として開催されるものです。なお、本委員会は「足立区ギャラクシティ運営評価委員会公開規程」に基づき、公開会議となります。</p> <p>&lt; 2. 指定管理者入場 &gt;</p> <p>&lt; 3. 青少年課長挨拶 &gt;</p>
<p>寺島課長</p>	<p>第一回の開催にあたり、3月26日及び3月28日の2回に分けての開催となりましたことをお詫び申し上げます。本日は、平日とはいえ、春休みのギャラクシティをご視察いただきますようよろしくお願いいたします。午前中ということもあって、比較的すいておりますので、お客様に直接お声がけいただいても結構です。</p>
<p>中島係長</p>	<p>それでは、ここからの進行は、寺島課長が行います。</p>
<p>寺島課長</p>	<p>ただいまから、足立区ギャラクシティの平成28年度運営にかかる、第1回運営評価委員会を開会いたします。まずは、本日の資料について、事務局からの確認をお願いしたい。</p>
<p>中島係長</p>	<p>&lt; 4. 資料確認 &gt;</p> <p>&lt; 5. 事業視察 &gt;</p> <p>(館内案内)</p> <p>&lt; 6. 意見交換 &gt;</p>
<p>田中委員</p>	<p>本日は活気があり、おじいちゃん、おばあちゃんと来館している方が多くみられる。館内は各所に案内掲示板があるが、高齢者にとって見やすい案内板なのか、文字を大きくしたほうが良いのではないか。</p>
<p>大林委員</p>	<p>スペースあすれちっく（大型ネット遊具）はホコリが多く出るとのことだが、地下2階の換気はどのような対応を行っているのか。</p>
<p>俣田副館長</p>	<p>地下2階にイオン発生を設置し空気清浄に努めている。館内は全館空調で換気を行っているが、ホコリが多いためフィルターをこまめに交換している。一日7回の清掃を行っている。また、月1度は、ブロアーでロープを支えているパイプのホコリを重点的に落としている。特に冬場はひどい状況になる。</p>

林委員	まるち体験ドーム（プラネタリウム）の映像が白っぽいので、発色をよくしたほうがよいと感じた。
俣田副館長	ちょこっとシアターはスタッフが作成しているので、どうしても映像が白っぽくなってしまふ。今後、作成の際に注意する。
伊志嶺委員	春休みの平日ということもあるが適度に利用者がおり利用者の状況が確認できた。昨年度比△7%ということだが、これ以上利用者を増加させることが必要なのか、適正な人数がわかりにくい。利用者の低年齢化が進んでいる様子なので、例えば、平日の午前中については、低年齢児に特化するなど、利用者の実態に合わせた運営が必要ではないかと感じた。
俣田副館長	利用実態、利用者アンケートなどにより、低年齢児の対応も必要であると考え、平日の午前中に事業を展開するよういたしました。子ども達が育っていく中で、ギャラクシティへのかかわりを持つことで、高校生になっても、Gがくえんなどに参加してくれる子どももいる。このような繋がりを続けていきたい。こどもに一ていんぐの子どもボランティアは独特の文化になりつつある。また、ITの地域ボランティアなども確立している。
田中委員	平成25年度事業における評価の中で、まるち体験ドーム事業がC判定であったが、課題解決への対応をしているのか。
俣田副館長	「まるち」という名の活用が図られていなかったため、C判定であった。区内施設、生物園、等との連携、多様な年齢を呼び込むためのコンサートなど、従来のプラネタリウム事業以外の活用を図り、施設を有効利用している。
伊志嶺委員	最近ではインフルエンザが増えているが、館内は特に問題なかったのか。
俣田副館長	インフルエンザより、子どもの嘔吐に気を付けている。スタッフがインフルエンザになった場合は出勤停止を行っております。
林委員	2020に向けてテロ対策等は行っているのか。
俣田副館長	ここ2年くらい前から、警察との連携を強化し、年2回ほど西新井警察講師によるスタッフ研修も行っている。最近では区から光るベストをいただいて夜間巡回を行っている。
	< 7. 閉会 >
寺島課長	それでは以上をもちまして、足立区ギャラクシティの平成28年度運営にかかる、第1回運営評価委員会を閉会いたします。
	< 8. 事務連絡 >
中島係長	第2回目以降の日程調整をメールにて行う予定である。

